

単管での門扉建て方(参考例)

- ※ はじめに、門扉設置に関してはお客様の判断と責任において安全・確実に施工するようにお願い致します。
- ・単管の埋め込みの深さは一例ですので各設置場所の土質や地盤状況に応じて適切に対応して下さい。
 - ・補強の仕方も周囲の状況や門扉のサイズ等により変わりますので門扉が傾いたり、倒壊しないように確実に対応して下さい。

以下の項目をご確認頂き、安全に設置をして下さい。

1. 強固な地盤であるかどうか。
2. コンクリートやアスファルトからはくい丸の打ち込みは出来ません。
3. 周囲の状況確認。 歩道、境界線、歩行者への配慮など
4. 施工する場合は事故や怪我には十分ご注意の上、行って下さい。

1.部材をそろえる(写真は片側分なのでこれの2セット分をそろえて下さい)

Aタイプ

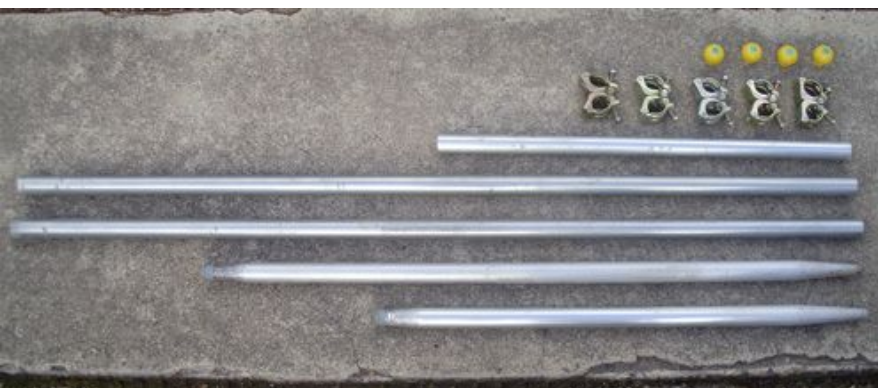


門扉高 1.5mまでの部材(片側分)

Aタイプ部材表

商品名	サイズ	必要数
単管キャップ	48.6φ用	10
自在クランプ	48.6φ用	12
単管 48.6φ	1.0m	2
単管 48.6φ	1.5m	4
くい丸 48.6φ	1.5m	2
くい丸 48.6φ	1.1m	2

Bタイプ



門扉高 2.1mまでの部材(片側分)

Bタイプ部材表

商品名	サイズ	必要数
単管キャップ	48.6φ用	8
自在クランプ	48.6φ用	12
単管 48.6φ	1.0m	2
単管 48.6φ	2.0m	4
くい丸 48.6φ	1.5m	2
くい丸 48.6φ	1.1m	2

- ※ お客様の判断と責任において安全・確実に施工するようにお願い致します。

2.設置する場所に印をつける(位置決め)



※ 写真は、設置参考例を撮影するために当社駐車場(固い地盤)にて設置した様子を順番に並べています。

※ 転倒の恐れがある為、脚立の使用はおやめ下さい。

3.くい丸(打込用単管)・打ち込みと単管の組付け



1. 作業台などを使う



2. くい丸1.5mを垂直に打ち込む



3. 約0.5mまで打ち込む



4. 自在クランプで単管1.5mを垂直に取り付ける



5. 単管の傾きの確認



6. 0.8mほど外し



7. くい丸1.1mを60度ぐらいで打ち込む



8. 約0.5mまで打ち込む



9. 単管1.0mを自在クランプでつなぐ



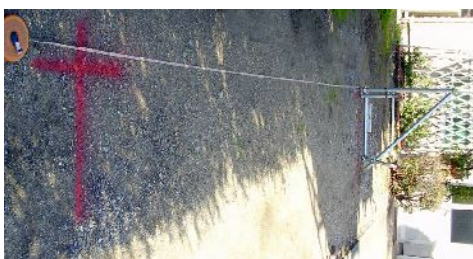
10. 単管1.5mを自在クランプでつなぎ補強する



11. 単管キャップをつける



12. 単管設置完成



13. 開口寸法を計る



14. 位置を決める(6.0m)

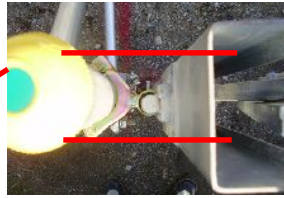
もう一方の門扉設置用単管を同様に設置します。

※ お客様の判断と責任において安全・確実に施工するようにお願い致します。

4.門扉取付 (Lシリーズ門扉 LM6.0m S)



固定支柱を少し浮かせて設置することで
門扉を回転するときにスムーズに動きます



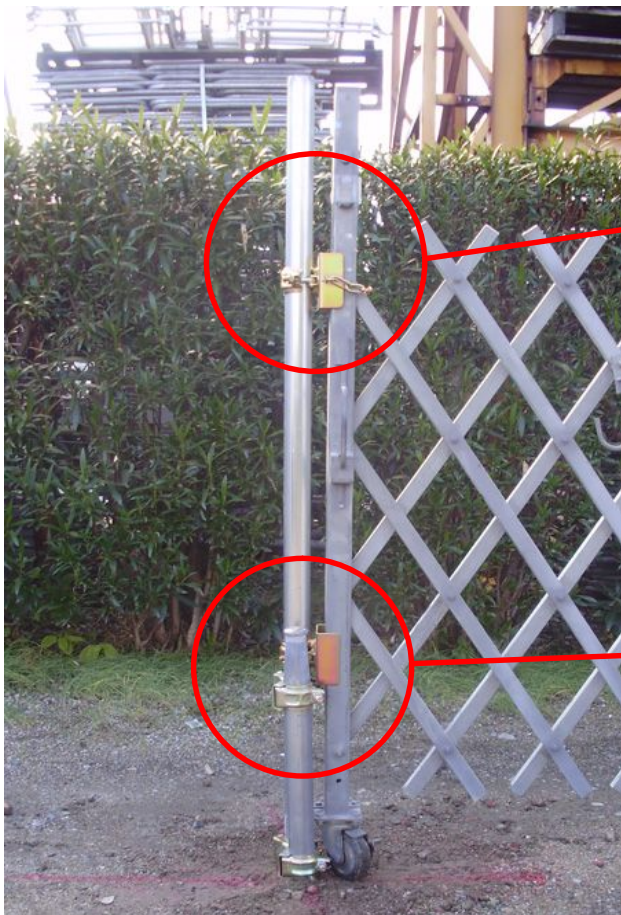
単管と固定支柱を
平行に付ける



固定クランプをしめる



片開き用 ロック金具と振止金具取付



↑ 写真撮影用のため、補強をしません

ロック金具



カギをつける場所

振止金具



※ お客様の判断と責任において安全・確実に施工するようにお願い致します。

5.設置完了 Aタイプ

Lシリーズ LM6.0m S 左固定



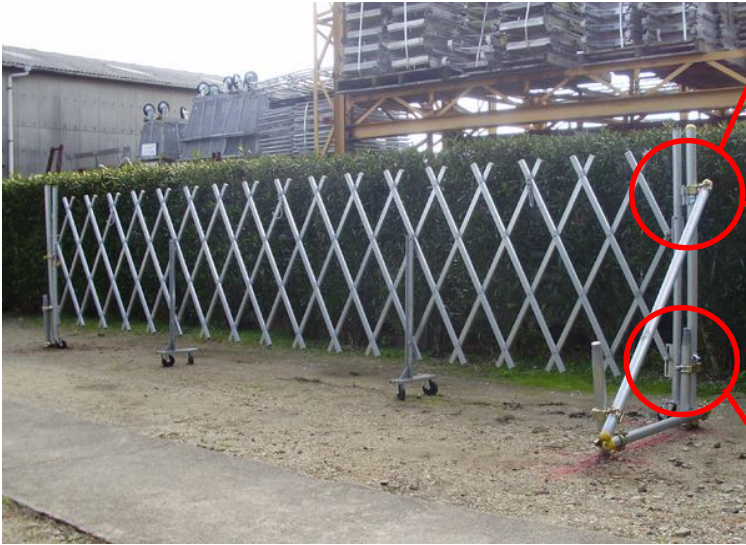
↑ 写真撮影用のため、片側の補強をしていません ↑

6.門扉高2.1mの場合 Bタイプ

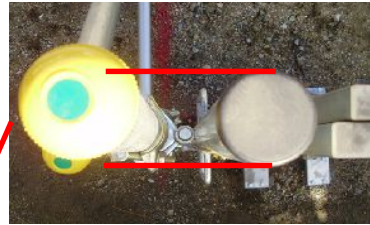


※ お客様の判断と責任において安全・確実に施工するようにお願い致します。

7.Kシリーズの設置



↑ 写真撮影用のため、片側の補強をしていません



単管と固定支柱を
平行に付ける



固定金具取付



固定金具取付



ロック金具取付



チェーンを引っ掛けた場合(一時的なロック)



チェーンの輪を通してカギを付ける

※ お客様の判断と責任において安全・確実に施工するようにお願い致します。